

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度			
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	14 ごみ処理
事務事業名			07 備前地域ごみ処理広域化事業
根拠法令・例規等			新岡山県ごみ処理広域化計画 備前地域ごみ処理広域化対策協議会 備前広域環境施設組合
担当課(室)			環境課
職・氏名			衛生係長・森本和成
電話			64-1821

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	備前ブロック(備前地域ごみ処理広域化対策協議会・備前広域環境施設組合)
目的(何のために)	ダイオキシン類の削減対策や最終処分場の確保の難しさ、リサイクルの必要性の高まり、公共事業の削減などに対応し、効率的にごみを処理し、施設整備が安価になることから計画されている新岡山県ごみ処理広域化計画に基づき、備前地域ごみ処理広域化を推進する。
行政活動(どのような方法で)	備前地域ごみ処理広域化対策協議会において、ごみ処理施設を整備する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	ごみ処理が広域で処理が可能となり、効率的にごみ行政が推進でき、施設整備や維持管理費が安価になるとともに、ダイオキシン類の削減対策や最終処分場の確保の難しさが克服できる。

事業の実績				
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
会議回数			4	6
会議回数				28
直接事業費	千円	0	1,874	11,200
必要人員	人	0.15人	0.07人	0.19人
必要人員	人	1,585	718	1,534
事業費	千円	1,585	2,592	12,734
国・県支出金	千円			
受益者負担金	千円			
繰入金	千円			
市債	千円			
その他( )	千円			
一般財源	千円	1,585	2,592	12,734
受益者負担比率	%			

結果指標				
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標①	説明			
対前年対比	%			
活動コスト	円			
単位当たりコスト	円	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
結果指標②	説明			
対前年対比	%			
活動コスト	円			
単位当たりコスト	円	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
	目標値(A)				
	実績値(B)				到達目標年度
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
成果指標設定の考え方・式や説明					

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
市の関与の妥当性	市	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている	判定理由・課題認識
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E>
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E>

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	結果指標量②			成果指標量	
		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合
状況			○			
説明	平成20年12月に備前広域環境施設組合が設立され、引き続き広域処理について協議を行う。					

総合評価		評価区分<A~E>
ごみの処理は避けられない問題であり、広域化は以前から協議されてきたが、前に進んでいなかったが、事務局が変更になり、事業が前に進んでいる。本市としても、今後とも推進する必要がある。		

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明		○				
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。